

【社会学3学会合同研究・交流集会】

「地震・津波・原発災害から1年

被災地復興の現状と課題を考える」

■主催

地域社会学会・日本都市社会学会・日本社会学会

■趣旨

東日本大震災から1年がたとうとしています。社会学の各分野においてもこれまで、調査研究のみならず、被災地支援活動への関与や復興計画の立案についての助言や提言などさまざまな活動が行なわれてきました。そこで、震災から1年という節目に、これまでの研究・実践活動を振り返り共有することで、今後の復興の方向性と課題を明らかにし、さらにそれを国内外へ発信するため、下記のような研究・交流集会を開催することを企画しました。年度末を控え、箱物中心の復興が加速していくと思われれます。社会学はこうした方向性だけではない復興のあり方を提起したり、別の角度からの見方を社会学研究者だけではなく、広く社会（地元行政職員や復興関係者や報道機関など）に訴えていく必要があると考えます。その意味で、開催時期として震災1年というのは象徴的な意味をもつとともに、本格的な復興が始まる新年度の前という実質的な意味をもちます。

■日時と場所

日 時：2012年3月5日（月）～ 3月6日（火）

場 所：岩手県立大学アイーナキャンパス（JR 盛岡駅前、いわて県民情報交流センター7階）

■プログラム

3月5日（月）エクスカージョン

8時半～18時 JR 盛岡駅マリオス下集合→遠野→釜石→大槌→宮古→盛岡

18時 懇親会（JR盛岡駅前）

3月6日（火）分科会およびシンポジウム

9時半～12時 分科会（3～4部会）

13時～15時半 シンポジウム「津波被災地の復興の現在と直面する課題」

*詳細なプログラムについては、現在検討中です。順次下記のブログにアップしていく予定です。

<http://soc4symposium.sakura.ne.jp/>

■参加費（当日徴収）

3月5日（月） エクスカーション 2000円

3月6日（火） 分科会およびシンポジウム 1000円

■お申込・お問い合わせ

エクスカーションは事前のお申込が必要です。メールにて、件名に「社会学3学会合同・交流研究集会エクスカーション申込み」とご記入の上、お名前、ご所属、メールアドレスをお教え下さい。分科会、およびシンポジウムは当日参加も可能ですが、準備の都合上、できるだけ事前にお申込下さい。メールにて、件名に「社会学3学会合同・交流研究集会申込み」とご記入の上、お名前、ご所属、メールアドレスをお教え下さい。いずれもoffice@soc4symposium.sakura.ne.jp までお願い致します。お問い合わせも左記のアドレスまでお願い致します。

■自由報告の申し込みについて

◇3月6日（火）午前の分科会で自由報告を希望する方の申し込みを受け付けています

- ・報告時間は1人25分です。
- ・報告を希望する方は、下記の自由報告申込書に必要事項をご記入の上、下記（事務局）までメールに添付してお送り下さい。
- ・エントリー受付期間は、2月6日（月）までです。

◇報告要旨の提出について

- ・報告要旨集を作成し、当日配布する予定です。
- ・自由報告を申し込んだ方は報告内容の用紙をA4用紙1枚にまとめ、下記（事務局）まで添付ファイルでお送り下さい。
- ・ワードファイルを推奨します。
- ・タイトル、氏名、所属等を含め、40字×40行で印字して下さい。

- ・フォントは、明朝体 10.5 もしくは 11 ポイントを推奨します。
 - ・お送り頂いた原稿はそのまま印刷し、製本します。
 - ・締切は、2月25日（土）です。
 - ・自由報告申込書は、<http://soc4symposium.sakura.ne.jp/> からダウンロードして下さい
- 自由報告申込み、および報告要旨は、office@soc4symposium.sakura.ne.jp までメールでお送り下さい。

■社会学3学会合同研究・交流集会実行委員会

社会学3学会合同シンポジウム実行委員会

代表 吉野英岐（岩手県立大学・教授：地域社会学）

日本都市社会学会

渡戸一郎（明星大学・震災関係作業部会事務局長）

浅川達人（明治学院大学・震災関係作業部会委員）

山下祐介（首都大学東京・震災関係作業部会委員）

地域社会学会

黒田由彦（名古屋大学・震災特別委員会副委員長）

吉野英岐（岩手県立大学・震災特別委員会委員長）

日本社会学会

田中重好（名古屋大学・震災問題委員会）

正村俊之（東北大学・震災問題委員会）